

1

問題番号	正 答	配点	通し番号	正 答	配点	通し番号	正 答	配点	通し番号
問 1	(1) -54	3	①	(2) 7	3	②	(3) 10	3	③
問 2	$x = 2, x = 5$							5	④
問 3	D (1, -2)	5	⑤	問 4	$y = 7x - 4$			5	⑥
問 5	3.5 冊	5	⑦	問 6	ア, ウ			5	⑧

2

問題番号	正 答	配点	通し番号
問 1	エ	4	⑨
問 2	(箱の中の赤玉の個数) およそ 200 個	6	⑩
	(求め方) (正答例) 箱の中から取り出す玉の個数は30個であり、 そのうち、赤玉は12個取り出されたことから、 1回の実験で取り出した玉にふくまれる赤玉の個数 の割合は、 $\frac{12}{30} = \frac{2}{5}$ ……① よって、箱の中にふくまれる赤玉の個数の割合は、 $\frac{2}{5}$ であると推定される。 したがって、箱の中にある赤玉のおよその個数は、 $500 \times \frac{2}{5}$ で求めることができ、 ……② 計算するとおよそ200個であると考えられる。		
	① イ		
②	(正答例) Bの割合が、Aの割合に近づく	6	⑪

3

問題番号	正 答	配点	通し番号
問 1	(1) 8 秒後	4	⑫
	(計 算) (正答例) $x = 4$ のとき $y = 8$, $x = 8$ のとき $y = 32$ より、 電車が Z 駅を出発して、4 秒後から 8 秒後まで の間の平均の速さは、 ……① $\frac{32 - 8}{8 - 4}$ と表すことができ、 ……② 計算すると 6 になる。 (答) 秒速 6 m	6	⑬
問 2	(計 算) (正答例) 電車の全長が 48m であるから、 電車の先端が自転車の先端より 48m 進んだ位置に あるときの時間を求めればよい。 よって、 $\frac{1}{2}x^2 - 10x = 48$ ……① $x^2 - 20x - 96 = 0$ $(x + 4)(x - 24) = 0$ ……② $x \geq 0$ より、 $x = 24$ (答) 24 秒後	6	⑭

問題番号	採点基準
1 問 2	・ $x = 2$, 5 も正答とする。
1 問 6	・ 順不同で完全解答とする。
2 問 2 (1)	・ (箱の中の赤玉の個数) が導かれている場合は 2 点とする。 ・ ①, ② が導かれている場合はそれぞれ 2 点とする。
2 問 2 (2)	・ 完全解答とする。
3 問 1 (2)	・ ①, ② が導かれている場合はそれぞれ 2 点とする。
3 問 2	・ ①, ② が導かれている場合はそれぞれ 2 点とする。

4

問題番号	正 答		配点	通し番号
問 1	(1)	20 度	4	⑮
	(2)	ア C イ (正答例) BC	6	⑯
		ウ (正答例) 線分BEの垂直二等分線をひく		
	エ	二等辺三角形		
問 2	(証明) (正答例) $\triangle AGH$ と $\triangle DIG$ において、 $\angle GAH = \angle IDG = 90^\circ$① $\angle AGH = 180^\circ - 90^\circ - \angle DGI$ であるから、 $\angle AGH = 90^\circ - \angle DGI$⑦ $\triangle DIG$ において、内角の和は 180° なので、 $\angle DIG = 180^\circ - 90^\circ - \angle DGI$ $\angle DIG = 90^\circ - \angle DGI$④ ⑦, ④より、 $\angle AGH = \angle DIG$② ①, ②より、対応する2組の角がそれぞれ等しいので、 $\triangle AGH \sim \triangle DIG$		6	⑰

問題番号	採点基準
4 問 1 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ア, イは完全解答とし, 配点は1点とする。 ・イはADも正答とする。 ・ウの配点は3点とする。 ・エの配点は2点とする。
4 問 2	<ul style="list-style-type: none"> ・①が導かれている場合は2点とする。 ・⑦, ④から②が導かれている場合は3点とする。 (⑦, ④が導かれている場合はそれぞれ1点とする。)

5

問題番号	正 答		配点	通し番号
問 1	(1)	イ	4	⑱
	(2)	$\frac{17}{3}$ 秒後	5	⑲
問 2	(計 算) (正答例) 直角三角形BEFにおいて, 三平方の定理より, $EF^2 = 3^2 + 4^2$ $EF > 0$ より, $EF = 5$ cm① 出た目の数の和は最小で2, 最大で12であるから, 点Qは8 cmから48 cmまで動く。⑦ 点Qが辺CD上にあるのは, 点Qが頂点Aを出発して, 10 cmから16 cmまで動いたとき,④ または, 32 cmから38 cmまで動いたときである。⑦ よって, 大小2つのさいころを投げたときに, 点Qが 辺CD上に止まるのは, ⑦, ④, ⑦より,② 出た目の数の和が3, 4, 8, 9になればよい。 出た目の数の和が3, 4, 8, 9となるのは, (1, 2), (1, 3), (2, 1), (2, 2), (2, 6), (3, 1), (3, 5), (3, 6), (4, 4), (4, 5), (5, 3), (5, 4), (6, 2), (6, 3) の14通りある。③ 大小2つのさいころの目の出方は全部で36通りある。④ したがって, ③, ④より, 求める確率は, $\frac{14}{36} = \frac{7}{18}$ (答) $\frac{7}{18}$		9	⑳

問題番号	採点基準
5 問 2	<ul style="list-style-type: none"> ・①, ④が導かれている場合はそれぞれ1点とする。 ・②が導かれている場合は4点とする。 (⑦, ④, ⑦が導かれている場合はそれぞれ1点とする。) ・③が導かれている場合は2点とする。

(注) 1 2 問 2 (1), (2)②, 3 問 1 (2), 問 2, 4 問 2, 5 問 2 について, 論理的に正しい場合は正答とする。

2 正答表に示された事項以外のものについては, 学校の判断による。ただし, 正答表に示す正答例以外の解答に係る中間点の配点については, 上記の採点基準に準じること。